

いじめをなくすために

「人生で一度もいじめをしたことがないと胸を張って言える人は手を挙げて」この質問をされた時すぐに手を挙げるができなかった。なぜ自分がすぐに手を挙げるができなかったのかその時はわからなかった。しかし、人の悪口を言ったり、暴力を振るったりしたことはない。では、なぜ手を挙げるができなかったのか。

それは「見て見ぬふり」だ。見て見ぬふりをした人をいじめの被害者が見れば、なぜ助けてくれないのか、と思うと思う。見て見ぬふりも被害者から見れば、いじめと同じなのだ。私は、どこまでが悪ふざけで、どこからがいじめなのかがよくわからない。だから、今まで見てきたものが悪ふざけなのか、いじめなのかわからず、声をあげることができなかった。そこで、悪ふざけといじめの違いについて調べてみた。辞書で調べてみると、悪ふざけは「度を過ぎして、ふざけること」、いじめは「弱い立場の人を肉体的または精神的にいためつけること」だそう。

辞書で調べてみて私が疑問に思ったのは、いじめの説明の「弱い立場の人」という言葉についてだ。多くの人を持っている「弱い立場の人」のイメージは権力がない、だとか、上の立場の人に従うべき存在だ、というようなものだと思う。私も今までこのようなイメージを持っていた。しかし、これは学校という場では通用しないと思う。学校は「〇〇委員だから偉い」や、「みんなの前で発言できなければ偉くない」というわけではない。学校はみんな同じ立場で、上の立場や下の立場という関係はないと思う。では私が見てきたものはいじめではなかったのだろうか。あれが悪ふざけで本人が苦しいと思っていなかったのなら良かったと思うが、いじめだったのなら、私も加害者ということになり、見たことに対して何も声をあげられなかった自分が許せない。

この経験から、いじめをなくすためにはどうしたらよいか考えてみた。

一つ目は自分の言動によって相手がどう思うかよく考えることだ。最近SNSによるいじめが増えているそう。さらに、現実でのいじめがネットに変わったただけのため、無視や仲間はずれといった行為も少なくないそう。ネットでのいじめの怖いところは相手の顔が見えないところであると思う。また、ネットでのいじめが大幅に増化（原文ママ）する理由は、誰が発言しているか相手にはわからないだろうから大丈夫、という気持ちが利用者の心にあるからだと思う。ネットでいじめをしている人がいたら、SNSで発言をする前に、相手が目の前にいるとしたら同じことを言えるだろうかと考えてほしい。そのように考えること

で、いじめを少しでも減らすことができると思う。

二つ目は、いじめを見つけた人が止めることだ。そもそもいじめが始まらないようにすることが一番よいが、それは難しいと思う。だから、いじめを見かけた人、いじめについて何か知っている人の協力が必要だと思う。見て見ぬふりは加害者ではないと考える人も多くいると思うが、少なくともいじめられた人は見て見ぬふりをされたと傷ついていると思う。いじめかもしれないという場面を見かけたら、声をあげてほしい。声をあげづらい状況であったら、周りの人に相談してみてほしいと思う。私も、自分がいじめが止まるきっかけを作るのだという気持ちを持ちたいと思う。

いじめは、相手の人権を侵害する行為である。どんな理由があっても人を傷つけていい理由にはならない。言葉で傷つけるいじめも、肉体的に傷つけるいじめも、暴力を振るうことと同じなのである。生きる権利の侵害、いじめに苦しみ、自ら命を絶ってしまうというニュースが今も続いている。いじめによって苦しんでいる人がいる。いじめが起きないようにするためには、誰もが相手の気持ちを考え、お互いに手を取り合うことのできる空間をつくらなければいけないと思う。だからこそ、相手に声をかける前に、自分の言葉で相手はどんな気持ちになるだろう、相手は傷つかないだろうかと考えてみてほしい。それは子供にも大人にも共通して言えることだと思う。

みんなが笑顔で幸せな世界になってほしい。いじめのない世界が実現することを願っている。